

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成16年8月17日

上場会社名 **株式会社サノヤス・ヒシノ明昌**
 コード番号 7020

上場取引所(所属部) 大証(市場第1部)
 本社所在地 大阪市北区中之島三丁目6番32号

(URL <http://www.sanoyas.co.jp>)

代表者 取締役社長 木村 進一
 問合せ先責任者 常務取締役 森本 武彦

TEL (06) 4803 - 6171

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
 (内容) 税金費用の計上基準のほか、一部簡便な方法を採用しております。
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の変更の有無：無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	11,547	△ 7.2	44	—	52	—	4	—
16年3月期第1四半期	12,445	—	—	—	—	—	—	—
(参考)16年3月期	52,373	△ 1.7	954	△ 34.8	695	△ 48.2	257	311.3

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	0	15	—	—
16年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)16年3月期	8	31	—	—

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため金額及び増減率の記載を省略しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

経営成績につきましては当社グループは受注産業の性格が強く、期末に売上の計上が集中する傾向並びに個別案件の竣工時期が年度によって異なることがあるため、当第1四半期の短期間では必ずしも年度業績に反映しにくくなっております。

当第1四半期の経営成績につきましては、船舶部門はパナマックス・バルクキャリアー3隻を引き渡しました。前年同期は船価の大きいアフラマックス・タンカーの2隻であったため、売上高は前年同期比469百万円減の7,213百万円となりました。陸上部門においてはレジャー事業のロケーション売上が増加したものの、本年度の大型遊戯機械の竣工が第2四半期に集中することもあって販売売上が減少したこと、また乳化装置売上が減少したことなどから前年同期比429百万円減の4,334百万円となり、売上高合計は前年同期比898百万円減の11,547百万円となりました。収益につきましては営業利益は44百万円、経常利益は52百万円、当四半期純利益は4百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円	銭
17年3月期第1四半期	62,459		8,829		14.1		308	80
16年3月期第1四半期	—		—		—		—	—
(参考)16年3月期	61,411		8,897		14.5		310	48

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は62,459百万円となり前期末比1,048百万円増加しました。船舶受注に伴う前受金が増加したことから現金及び預金が増加したこと、新造船生産設備投資等が主な要因であります。株主資本は当第1四半期に株主配当の支払等があったことなどから前連結会計年度比68百万円減少し8,829百万円となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	24,500	400	150	5	25
通期	50,000	900	500	16	81

[連結業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては概ね予想通り推移しており、平成16年5月21日に公表しました平成17年3月期の連結業績予想については、現時点での変更は行っておりません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比
資産の部		%		%
流動資産				
1 現金及び預金	9,798		8,129	
2 受取手形及び売掛金	5,801		7,675	
3 たな卸資産	13,198		12,513	
4 繰延税金資産	229		212	
5 その他の他 貸倒引当金	2,026 57		1,949 63	
流動資産合計	30,997	49.6	30,416	49.5
固定資産				
(1) 有形固定資産				
1 建物、ドック船台及び構築物	5,401		5,471	
2 機械装置、運搬具及び 工具器具備品	8,335		8,272	
3 土地	7,088		7,088	
4 建設仮勘定	887		458	
有形固定資産合計	21,714	34.8	21,291	34.7
(2) 無形固定資産	871	1.4	1,006	1.6
(3) 投資その他の資産				
1 投資有価証券	5,761		5,548	
2 繰延税金資産	1,470		1,524	
3 その他の他 貸倒引当金	2,073 430		2,066 443	
投資その他の資産合計	8,875	14.2	8,696	14.2
固定資産合計	31,462	50.4	30,994	50.5
資産合計	62,459	100.0	61,411	100.0
負債の部				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	11,134		11,550	
2 短期借入金	7,303		8,790	
3 社債(1年以内償還)	2,200		2,200	
4 未払法人税等	117		264	
5 繰延税金負債	7		8	
6 前受金	10,049		8,448	
7 賞与引当金	183		323	
8 その他引当金	41		41	
9 その他の他	1,680		1,345	
流動負債合計	32,717	52.4	32,973	53.7

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
II 固定負債				
1 社 債	110		110	
2 長期借入金	14,107		12,625	
3 繰延税金負債	39		32	
4 退職給付引当金	5,466		5,501	
5 その他の他	207		213	
固定負債合計	19,931	31.9	18,482	30.1
負債合計	52,648	84.3	51,456	83.8
少数株主持分				
少数株主持分	981	1.6	1,058	1.7
資本の部				
I 資本金	1,430	2.3	1,430	2.3
II 資本剰余金	7	0.0	7	0.0
III 利益剰余金	6,070	9.7	6,228	10.2
IV その他有価証券評価差額金	1,323	2.1	1,232	2.0
V 自己株式	△1	△0.0	△1	△0.0
資本合計	8,829	14.1	8,897	14.5
負債、少数株主持分 及び資本合計	62,459	100.0	61,411	100.0

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
I 売上高	11,547	100.0	52,373	100.0
II 売上原価	10,482	90.8	47,265	90.3
売上総利益	1,065	9.2	5,108	9.7
III 販売費及び一般管理費	1,020	8.8	4,153	7.9
営業利益	44	0.4	954	1.8
IV 営業外収益				
1 受取利息・配当金	32		97	
2 その他	91	1.0	283	0.7
V 営業外費用				
1 支払利息	95		375	
2 その他	20	1.0	264	1.2
經常利益		0.4		1.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	52	0.4	695	1.3
法人税、住民税及び事業税	39		399	
法人税等調整額	—	0.3	△ 35	0.7
少数株主利益		0.1	73	0.1
四半期(当期)純利益	4	0.0	257	0.5

3. セグメント情報

事業の種類別売上高

(単位:百万円)

	船舶	陸上	合計
17年3月期第1四半期	7,213	4,334	11,547
16年3月期第1四半期	7,682	4,763	12,445
(参考)16年3月期	30,616	21,756	52,373

(注) 1.事業区分は内部管理上採用している区分によっている。

2.各事業の主な製品

(1)船舶部門 …… 新造船、作業船、改造船、修繕船、LPG船

(2)陸上部門 …… 橋梁、鉄鋼構造物、駐車装置、建設機械、遊園機械、機械部品、自動車部品、空調・給排水・環境工事、ソフトウェア開発、乳化装置、攪拌機